

森のおくりもの10月



ジョウビタキ（ヒタキ科）



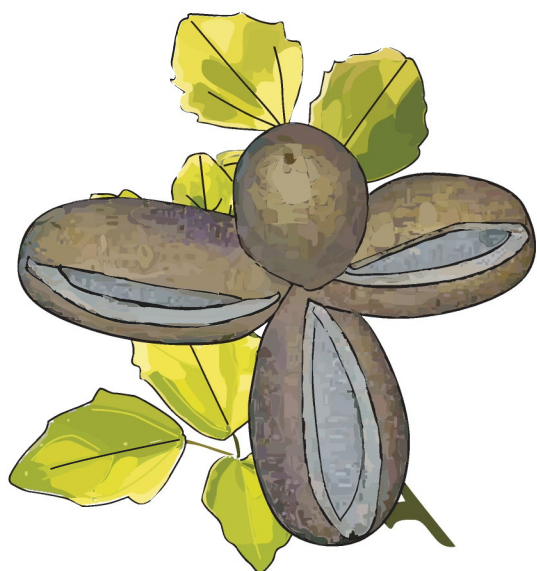
写真：朝倉健次さん（太白区）

10月に入り、森はいよいよ本格的な秋の装いとなっております。色とりどりのキノコや木の実、そして秋の花など、秋ならではの観察対象が盛りだくさんとなっております。ぜひ、自然観察の森で豊かな秋を感じていただければと思っております。
(館長 菊池正行)

テンも大好き？ 「ミツバアケビ」



アケビの果実は人気者



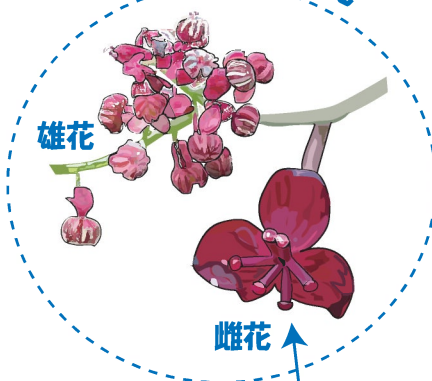
アケビの仲間には葉が5枚のもの（アケビ）と3枚のもの（ミツバアケビ）とその2種が自然交雑したもの（ゴヨウアケビ）があります。その中でも今回は葉っぱが3枚の「ミツバアケビ」を紹介します。

甘い果実は有名ですね。9月末ごろからスーパーでも売っているのを見かけます。市道で一つのツルから40個以上もの実がなっているのを見つけました！狙っているのは人だけではありませんよ。さて一体誰の口に入るのでしょうか。鳥？ネズミ？テン？人？

花は4月～5月に咲きます。花びらに見えるものは萼で、雄花にも雌花にも3枚あります。

アケビの新芽は「木の芽」と言われ食用に。また、ツルは「木通（もくつう）」といい、薬用にもされています。果肉はもちろん食用。果皮も天ぷらなどにして頂けます。その他、ツルは籠細工などにも利用され、人と関わりの深い、身近な植物です。

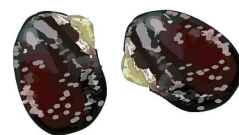
ミツバアケビの花



コブが、膨れてアケビの実になる。雌しべの先はべとついでいて、花粉が付きやすいようになっている

甘～いゼリー状の果肉に包まれた種は、動物などに食べられ、遠くまで運ばれます。よくテンのフンにこの種が混ざっていますよ。

●黒っぽく艶のあるタネ



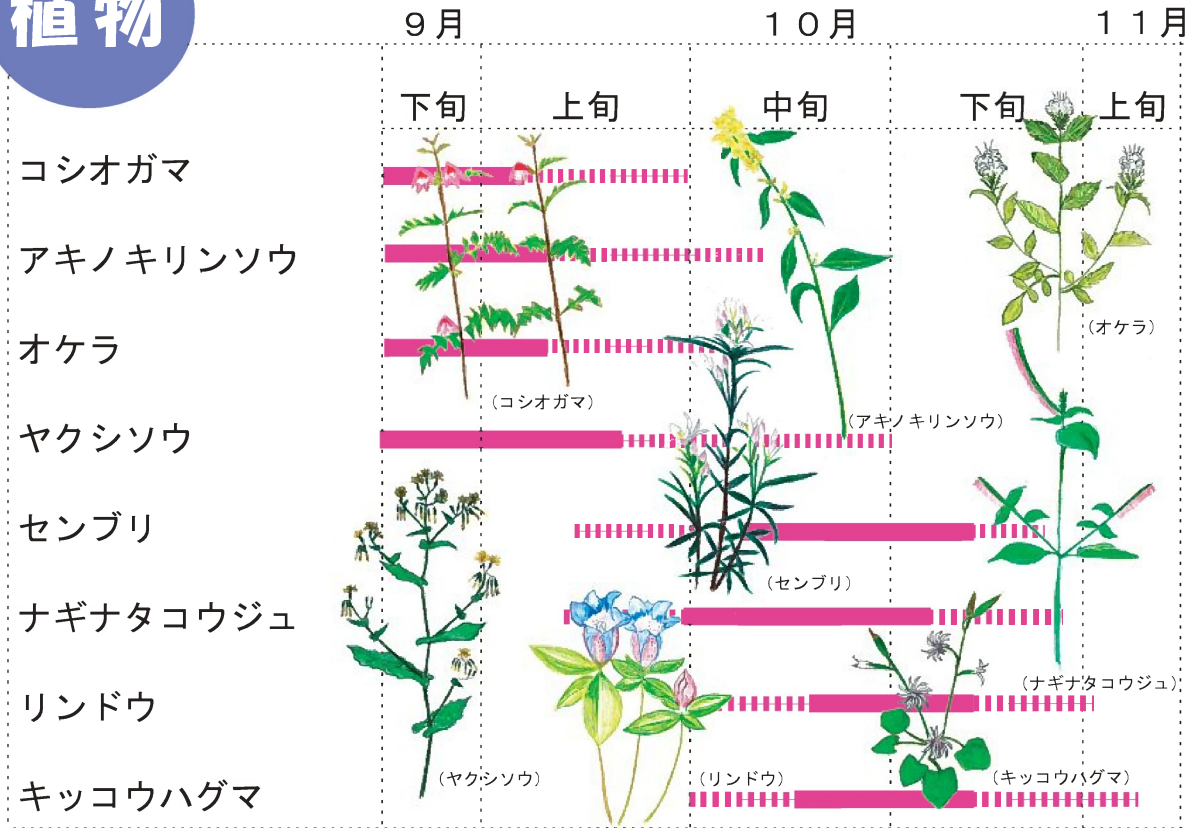
【約5～7mm】

【レンジャー：黒川周子】

*名前の由来：果実が熟すと割れて中の果肉が見えるようになる。その姿を「開け実」とよんでいたことからついた。

10月の生物ごよみ

植物



9月初旬に連休をいただき、山形県遊佐町のキャンプ場へ行ってきました。温泉に入ったり魚釣りをしたりと、数日間のんびりと過ごすことが出来ました。キャンプ場の夜はスズムシの涼しげな鳴き声でいっぱいに包まれていました。実は私、野生のスズムシの音色を聴くのは初めてなのです。数日間、感動の夜を過ごしました。そのスズムシを含め、今センターでは『秋の鳴く虫』の展示をしています。是非お越しください。

秋の鳴く虫クイズ

ということでスズムシはどれ??

①



②



③



【答えは6ページ】

【レンジャー：齋 正宏】

レンジャー 木もれび BLOG



略してコモブロ 第17回『実・み・美』



アオハダ (モチノキ科)
つやつやの真っ赤な丸あるい
実をつける。短枝と長枝をつ
け、果実は短枝につく。雌雄
異株の落葉高木。



サワフタギ (ハイノキ科)
瑠璃色の実はラピスラズリのよう。
少しいびつな形の実が多いけど、丸い実
は、まるで小さな地球のように輝く。

秋の森には宝石がそこかしこに実っ
ています。赤やオレンジ、コバルトブルー。

どうして森の樹木たちは、ため息が出るほど美し
いたネを实らせるのでしょうか。

それは「おいしいよ」のサイン。美しい色彩の果実は、主に
視覚の発達した野鳥たちへサインを出していると考えられています。
美しい果実は人間が食べても“美味しい”果実が多いことも事実。

美しく色づくことで熟したことを知らせ、おいしく食べてもらっ
て中の種をウンチとともに遠くへ運んで播いてもらう。動物は植物
を食べるけれど、植物に利用されることも多いのです。

そんなふう生き物たちのつながりを考えながら見るのも大切で
すが、たまには純粹に果実の美しさに酔いしれながらのトレッキン
グも「芸術の秋」ならではの楽しみ方だと思います。

今年はドングリなどの堅果類 (けんかるい) の実りは少なめ
ですが、そのかわり、美しく色づいたガマズミやナツハゼ
などの液果類 (えきかるい) は豊作です。イラストは
本当の美しさを伝えていません。ご自分の目で森中
に散らばる“宝石”を眺めながら散策してみ
てはいかがですか。



ヤマボウシ (ミズキ科)
ほんのり甘い果実は多くの花が
集まった集合果。
イボイボした感じは海にいるホヤ
を連想させる?

ナツハゼ (ツツジ科)
おなじみのブルーベリー
と同じツツジ科の落葉低木。
図鑑には実は黒く熟すと
書いてあるけど、実物は
深〜く濃い紫色。



【レンジャー：高橋千尋】

太白自然観察の森でインターンシップを終えて

小学生との森の散策に同行させていただいたことがとても印象に残っています。きれいな虫を捕まえたり、草笛をしながら歩きました。そんな中、1年生の女の子に聞かれました。「森の中にはどうして虫がいっぱいいるの。」何と答えたらよいか分かりませんでした。レンジャーの方なら何とお答えになるのでしょうか。

今回、大学の講義では学べないことをたくさん学ばせていただきました。この経験を生かしてこれからも学び、成長していきたいです。

(岩手大学 農学部3年 柳澤和希)

レンジャー体験で馬場小学校の児童を案内して歩くのがとても楽しかったです。自然の中での子供の感性に触れることはとても新鮮で刺激的な体験でした。山の中を歩く時は知識があると100倍おもしろいということがわかったので、レンジャーさんのように豊富な知識を持てるよう精進したいと思います。たくさんの新しい発見をすることができ、楽しく学べた二日間でした。お忙しい中インターンシップを受け入れてくださり本当にありがとうございました。



【仙台市立馬場小学校1・2年生の子供たち】

(宮城大学 食産業学部3年 宮崎望実)

小学生へのレンジャーのお手伝いは今までに体験したことのない難しさとしら楽しさを感じました。子供は単純だけど答えるのが難しい質問をしてくれます。そんな時、どうすれば楽しくわかりやすく伝えられるかを考えさせられました。レンジャーをやるには、膨大な知識量が必要であり、そのためにレンジャーの方々は日々勉強されているということに感銘を受けました。今回の研修で感じたことや学んだことを糧にして、今後も成長できるよう頑張っていこうと思います。(宮城大学 食産業学部3年 郡司詩穂)

10月のイベント&お知らせ



● 10月19日(土) 10:00 ~ 11:30

『きのこ観察会』

【対象】きのこに興味のある方 先着20名
 森のいろいろなきのこを観察し、【持ち物】長袖長ズボン、雨具など
 自然の循環について考えます。【料金】無料
 【申込み】10月8日(火) 9時から電話にて受付開始

● 10月26日(土) 10:00 ~ 15:00

『太白山の秋をたずねて』

【対象】太白山に興味のある方 先着20名
 紅葉の始まった太白山に、自然【持ち物】長袖長ズボン、昼食、雨具など
 観察しながらゆっくり登ります。【料金】無料
 登山未経験の方でも大歓迎。【申込み】10月9日(水) 9時から電話にて受付開始

注意! スズメバチが増える季節です



10月はオオスズメバチをはじめとするスズメバチ類の個体数が増える季節です。攻撃性が高い昆虫なので、森を歩く場合は次のことを守って下さいね。

- ①特に黒い色に反応するので、明るい色の帽子やシャツを着る。
- ②ハチが近寄ってきたら手で払ったりせず飛び去るのを待つ。

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

10月の開催日は
6日, 13日, 20日, 27日

午前の部10:00~11:30 午後の部13:30~15:00

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

27日の午後は館長によるガイドウォーク「館長と森を歩こう」です(日付が変更になる場合もございます)。

表紙の絵や
原稿を募集
しています。

里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね!
レンジャーからのプレゼント
があるよ!

イベント申込用



10月の休館日

7日, 21日, 28日
15日は開館します。
遊びにきてね。

♪森へおいでください♪



宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



Webから「森のおくりもの」バックナンバーが
ご覧になれます。

「太白山 森のおくりもの」で検索。

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2013年10月号(毎月1回5日発行)

発行: (公財) 仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp

クイズの答え ③です。(野生のスズムシは太白山周辺にはいません。)

①エンマコオロギ ②カンタン